令和元年12月１日　No.183

大室山　小室山

市議会だより

表題は「いとう」の文字に大室山･小室山を配し、図案化したものです。

これから４年間の任期に臨む
第19期市議会議員の20人

主な内容

○新議会構成……【Ｐ．２】
○臨時会の概要……【Ｐ．４】
○９月定例会の概要……【Ｐ．５】
○決算大綱質疑（７議員が質疑）……【Ｐ．８】
○常任委員会だより……【Ｐ.11】

新 議会構成決定

正副議長の選挙、各常任委員会委員及び議会運営委員会委員の選任を行いました。

臨時会

第一九期市議会議員の初議会となる臨時会を一〇月九日に開会しました。

正副議長

第75代議長　佐山（さやま）　正（ただし）

第71代副議長　中島（なかじま）弘道（ひろみち）

常任総務委員会

企画部、危機管理部、総務部、市民部の所管に属する事項及び他の常任委員会の所管に属さない事項を審査します。

委員長　四宮（しのみや）和彦（かずひこ）

副委員長　大川（おおかわ）勝弘（かつひろ）

委員　宮﨑（みやざき）雅薫（まさしげ）

委員　長沢（ながさわ）　正（まさし）

委員　重岡（しげおか）秀子（ひでこ）

委員　浅田（あさだ）良弘（よしひろ）

委員　石島（いしじま）茂雄（しげお）

※佐山正議長は、議長の職に専念するため、就任と同時に委員活動を辞退します。

議会運営委員会

定例会、臨時会の会期及び議案審議予定に関すること、議員提出議案、請願書、陳情書、動議の取り扱いに関すること、議会関係人事案件に関すること、議会関係例規の制定改廃に関すること、各種の儀礼に関すること、議会図書室に関すること、議長の諮問に関すること、その他議会運営に関することを協議します。

委員長　宮﨑　雅薫
副委員長　長沢　正
委員　青木　敬博
〃　四宮　和彦
〃　大川　勝弘
〃　重岡　秀子

市議会内会派の結成

令和元年一〇月九日現在

新しく構成された市議会に次の通り五つの会派が結成されました。

（◎＝会派代表者、会派構成議員は議席順）

常任観光建設委員会

観光経済部、農業委員会、建設部、上下水道部の所管に属する事項を審査します。

委員長
青木敬博（あおきよしひろ）

副委員長
佐藤龍彦（さとうたつひこ）

委員
鳥居康子（とりいやすこ）

委員
井戸清司（いどきよし）

委員
中島弘道（なかじまひろみち）

委員
田久保眞紀（たくぼまき）

常任福祉文教委員会

健康福祉部、教育委員会の所管に属する事項を審査します。

委員長
杉本一彦（すぎもとかずひこ）

副委員長
篠原峰子（しのはらみねこ）

委員
佐藤　周（さとうしゅう）

委員
杉本憲也（すぎもとかずや）

委員
仲田佳正（なかだよしまさ）

委員
鈴木絢子（すずきあやこ）

■正風クラブ
佐山　正　議員
佐藤　周　議員
◎宮﨑雅薫　議員
青木敬博　議員

■公明党
鳥居康子　議員
篠原峰子　議員
◎長沢　正　議員

■清和会
四宮和彦　議員
杉本憲也　議員
◎井戸清司　議員

■自民・伊東新時代。
大川勝弘　議員
中島弘道　議員
◎杉本一彦　議員

■日本共産党
佐藤龍彦　議員
◎重岡秀子　議員

■会派に所属していない
田久保眞紀　議員
仲田佳正　議員
鈴木絢子　議員
浅田良弘　議員
石島茂雄　議員

※第一九期議員の任期は、令和元年九月三〇日から令和五年九月二九日までになります。

令和元年10月９日臨時会で審議した議案等

議案番号	件　　名	概　　要	提出者	審議結果
市認第14号	令和元年度伊東市一般会計補正予算（第４号）専決処分の報告承認について	台風15号により発生した災害に関し、農道や林道の損壊、崩土の復旧や倒木処理、漁港の漂着物処理などの農林水産施設災害復旧費の4,595万円、小中学校や幼稚園、杢太郎記念館などの窓ガラスや雨漏りの修繕や倒木処理などの教育施設災害復旧費の1,905万円、観光会館や東海館の窓ガラスなどの修繕、按針メモリアルパークの漂着物処理などの観光施設災害復旧費の2,680万円などを主な内容として１億円を追加する補正予算について、令和元年９月18日に専決処分を行ったことの報告	市長	賛成多数で承　認
市選第３号	監査委員選任の同意について	井戸清司議員（議員のうちから選任する委員）	市長	賛成多数で選任に同意
市選第４号	公平委員会委員選任の同意について	朝日啓之氏（鎌田）を選任	市長	全会一致で選任に同意
発議第４号	前正副議長に感謝状の贈呈について	井戸清司前議長、長沢正前副議長の在任中の功績に対する感謝状の贈呈	議員10名	全会一致で可　決
発選第３号	議長の選挙	有効投票15票のうち、佐山正議員15票で佐山正議員が当選	——	——
発選第４号	副議長の選挙	有効投票15票のうち、中島弘道議員15票で中島弘道議員が当選	——	——
発選第５号	議会運営委員会委員の選任について	２ページをごらんください。	議長	全会一致で選　任
発選第６号	常任委員会委員の選任について	２、３ページをごらんください。	議長	全会一致で選　任
発選第７号	駿東伊豆消防組合議会議員の選挙	任期満了（令和元年９月29日）に伴う駿東伊豆消防組合議会議員の選挙 指名推選により、大川勝弘議員、重岡秀子議員、宮﨑雅薫議員の３人が当選	——	——

前副議長に感謝状を贈呈（写真右が長沢前副議長）

前議長に感謝状を贈呈（写真右が井戸前議長）

令和元年９月定例会

平成30年度
一般会計・特別会計・企業会計決算を認定

９月定例会を８月26日から９月６日までの12日間の会期で開会しました。

平成30年度 市長決算概要説明（要旨）

予算編成の背景

平成三〇年度一般会計当初予算は、市内経済の景気回復の兆しは見えてきたものの、市税の大幅な増収はまだしばらくの間は見込めない状況の中で、財政健全化に向けた取組を着実に進めつつ、本市の将来像実現と施策の三本柱である「みんながつくる伊東市」、「みんなが楽しい伊東市」、「みんなが暮らす伊東市」及び市長経営方針に基づいた各種施策の展開を念頭に置いたものとした。

歳入歳出決算の概要

歳入決算は、自主財源で大きな比重を占める市税が固定資産税の評価替えの影響で前年度比で減となったものの、ふるさと伊東応援基金繰入金が増加したことにより繰入金が対前年度比で大きく上回る決算となり、自主財源全体で対前年度比五・二％の増加となった。

また、依存財源では、地方消費税交付金や地方交付税が増加したものの、臨時福祉給付金給付事業や介護サービス提供体制整備促進事業補助金などの完了により、国庫支出金及び県支出金が減少している。

歳出決算は、経常経費において、扶助費や人件費が減少しているものの、生活環境向上対策事業などにより維持補修費が一一・八％、住民票等コンビニ交付システム構築事業などにより物件費が対前年度比三・八％増加している。

投資的経費については、普通建設事業において、南幼稚園富士見分園耐震補強事業や非常備消防ポンプ車購入事業が完了したことなどから、対前年度比で一三・八％減少している。

本市の財政状況

本市の財政は、職員の人件費を含むすべての事務事業の見直しなど、これまで一貫して継続してきた様々な改革への取組により、適正とされる規模の黒字を確保するとともに、文化施設整備基金や体育施設整備基金への積立てなど、将来を見据えた財源の確保を図れていることなどから、健全化判断比率や経常収支比率、実質収支比率などの財政指標も含め、その健全性は維持できていると判断している。

市長就任以来、施策の三本柱である「みんながつくる伊東市」、「みんなが楽しい伊東市」、「みんなが暮らす伊東市」と、対話と融和で「未来を拓く」を経営方針として市政運営に取り組んできた。今後もこの方針に基づき市民のため、本市の発展に努めてまいる所存である。

最後に、本決算の意義を真摯に受け止め、皆様からの貴重なご意見、ご指導をいただきながら、最善の努力をしていく。

平成30年度　一般会計・特別会計・企業会計決算

◎全会一致で認定　○賛成多数で認定

会計別	区分	歳入 決算額（円）	歳入 収入率（%）	歳出 決算額（円）	歳出 執行率（%）	審議結果
一般会計		27,225,180,649	96.7%	26,298,143,848	93.4%	○
特別会計	下水道事業	2,073,510,565	98.1%	2,066,494,808	97.8%	◎
	競輪事業	16,554,749,487	95.9%	16,120,334,269	93.4%	◎
	国民健康保険事業	9,576,627,898	100.5%	9,314,566,623	97.7%	◎
	土地取得	26,155,061	99.8%	26,066,205	99.5%	◎
	霊園事業	42,947,369	114.2%	37,276,900	99.1%	◎
	介護保険事業	7,963,209,460	98.3%	7,782,012,565	96.0%	◎
	後期高齢者医療	2,013,644,509	98.9%	1,987,737,233	97.6%	◎
合計		65,476,024,998	97.3%	63,632,632,451	94.6%	—

会計別	区分		収入 決算額（円）	収入 収入率（%）	支出 決算額（円）	支出 執行率（%）	審議結果
企業会計	病院事業	収益勘定	422,588,453	98.1%	391,753,030	86.4%	◎
		資本勘定	98,662,616	100.0%	154,925,169	100.0%	
	水道事業	収益勘定	1,795,768,668	98.6%	1,523,519,124	96.8%	◎
		資本勘定	265,763,800	98.7%	986,275,691	96.4%	

令和元年９月定例会

29件の議案等を可決

議案番号	件　　名	概　　要	提出者	審議結果
市報第４号	平成30年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づく、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率の「健全化判断比率」の報告及び病院事業会計、水道事業会計、下水道事業特別会計について「資金不足比率」の報告	市長	（報告・質疑のみ）
市議第７号	伊東市印鑑条例の一部を改正する条例	住民票やマイナンバーカード等へ旧氏を併記するための住民基本台帳法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴い、印鑑登録についても旧氏を取り扱えるようにするための条例改正	市長	全会一致で可　決
市議第８号	伊東市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行により、会計年度任用職員の給与等に関し必要な事項を定める条例の制定	市長	全会一致で可　決
市議第９号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行により、会計年度任用職員が創設されたこと、臨時的任用職員の任用要件が厳格化されたこと等に伴い、伊東市職員定数条例のほか、所要の改正が必要となった関係条例の整備に関する条例の制定	市長	全会一致で可　決
市議第10号	伊東市一般職の任期付職員の採用等に関する条例	高度の専門性を備えた人材の確保及び期間が限定される専門的な行政需要への効率的な対応を図るため、任期付職員を採用できる条件、任期の特例や更新、給与条例の適用除外等について必要な事項を規定する条例の制定	市長	全会一致で可　決
市議第11号	伊東市手数料徴収条例の一部を改正する条例	建築基準法の一部を改正する法律の施行に伴い、新たに行うことになった用途変更に関する審査事務に対し、手数料を徴収するための条例改正	市長	全会一致で可　決
市議第12号	子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の施行に伴い、伊東市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例のほか、幼児教育・保育無償化に伴い所要の改正が必要となった関係条例の整備に関する条例の制定	市長	全会一致で可　決
市議第13号	伊東市水道事業給水条例の一部を改正する条例	水道法の一部を改正する法律の公布に伴い、指定給水装置工事事業者の指定に更新制が導入されること及び水道法施行令の一部改正に伴う条例改正	市長	全会一致で可　決
市議第14号	駿東伊豆消防組合規約の変更について	駿東伊豆消防組合の負担金の経費区分において消防署所の運営に係る物件費等を個別経費から共通経費へ移行することに伴い規約を変更することについて、当該組合を組織する地方公共団体との協議について、地方自治法の規定により議会の議決を求めるもの	市長	全会一致で可　決
市議第15号	災害時情報伝達システム整備工事請負契約の締結について	契約金額：４億9,500万円 契約の相手方：ＮＥＣネッツエスアイ㈱静岡支店	市長	全会一致で可　決
市議第16号	平成30年度伊東市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	平成30年度伊東市水道事業会計未処分利益剰余金３億1,141万5,272円のうち、１億2,354万9,471円を減債積立金へ、１億円を建設改良積立金へ、8,786万5,801円を資本金へ組み入れることについて、地方公営企業法の規定により、議会の議決を求めるもの	市長	全会一致で可　決
市議第17号	令和元年度伊東市一般会計補正予算（第２号）	第一に、10月から実施される幼児教育･保育無償化に伴う各経費の計上、第二に、訪日外国人観光客の誘客に向けたデジタルマーケティング事業やまくら投げの更なるＰＲのためのまくら投げプロモーション事業を実施するための経費の追加、第三に、財政調整基金、公共施設総合管理基金、体育施設整備基金及び文化施設整備基金への積み立て、などを主な内容として、７億4,149万円の追加	市長	全会一致で可　決

議案番号	件　　名	概　　要	提出者	審議結果
市議第18号	令和元年度伊東市下水道事業特別会計補正予算（第１号）	ポンプ場、湯川終末処理場、荻・十足処理区マンホールポンプ、かわせみ浄化センターの４施設における、令和２年度から令和６年度までの５年間の施設維持管理業務を委託するに当たり、今年度中に業者選定を行うための４件の債務負担行為の追加	市長	全会一致で可　決
市議第19号	令和元年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）	確定した国民健康保険事業納付金について増減の整理などに3,505万4,000円の追加	市長	全会一致で可　決
市議第20号	令和元年度伊東市一般会計補正予算（第３号）	普通河川条例に基づく河川占用不許可処分の取り消しを求める訴訟が提訴されたことに伴う訴訟委託料66万円の増額（同額を予備費から減額するため予算規模に変更なし）	市長	全会一致で可　決
市認第４号 ☞討論	平成30年度伊東市一般会計歳入歳出決算	地方自治法第96条第１項第３号に基づく一般会計歳入歳出決算の認定 詳しくは５ページをごらんください。	市長	賛成多数で認　定
市認第５号～市認第13号	平成30年度７特別会計歳入歳出決算、２企業会計決算	地方自治法第96条第１項第３号に基づく各会計歳入歳出決算の認定 詳しくは５ページをごらんください。	市長	５ページをごらんください
陳情第８号	子ども医療費無償化についての陳情	令和元年８月７日受理	――	全会一致で採　択
発議第１号	地震財特法の延長に関する意見書	内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、内閣府特命担当大臣（防災）、消防庁長官、林野庁長官、水産庁長官、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員８名	全会一致で可　決
発議第２号	高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書	内閣総理大臣、国土交通大臣、経済産業大臣、総務大臣、国家公安委員会委員長、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員８名	全会一致で可　決
発議第３号	水産業の体質強化を求める意見書	内閣総理大臣、農林水産大臣、衆議院議長及び参議院議長	議員８名	全会一致で可　決

本会議で行われた討論の概要

【市認第四号】

《反対》日本共産党

住民福祉の向上として、本市では産業振興が欠かせない。移住政策では、首都圏での移住相談会参加などの前進はあるものの、先進地としての豊かな資源を生かす本格的な取り組みとは言いがたい。また、観光面では依然として各団体の連携が弱く、推進体制の構築に大きな遅れを感じる。以上の点から認定に反対する。

《賛成》自民・絆

今後の施設整備に必要な資金を積み立てながら堅実な財政運営がされている。

待機児童解消など子育て支援策に課題があるものの、ボトムアップの政治姿勢で市民の声が届く市政運営を行い、事務事業など様々な改革にも取り組み、市長が進める経営方針のもと着実に前進しているものと評価し、賛成する。

《反対》犬飼このり議員

みんながつくる、みんなが楽しい、みんなが暮らす伊東市。「みんな」が誰を指すのか、誰のために何をすべきかを肝に銘じて市政運営を。予算枠内の決算額だけで判断し、事業の検証なく、結果を濁して認定しても本市の発展につながらないという思いから、市認第四号伊東市一般会計歳入歳出決算認定に反対する。

《賛成》公明党

当初予算二五六億一〇〇〇万円、最終予算規模二八一億五九九三万五〇〇〇円とする決算に対し、小野市長としては初めての通年予算であり、新生伊東市のスタートに当たり、公約で掲げた三本の柱を中心に「未来を拓く」取り組みとしての一歩を踏み出した決算内容であったと評価し、賛成する。

※会派構成は一〇ページをごらんください。

決算大綱質疑

５会派及び会派に所属していない１議員が質疑／
決算概要説明及び各会計決算に係る議案について質疑

（質疑順に掲載。文面の掲載量は、構成人数による。会派構成は10ページをごらんください。）

中学校部活動補助事業の実績等について伺う

正風改革クラブ　◎＝登壇者
山口嘉昭議員　◎佐山　正議員

教育長
部活動の負担軽減及び保護者の負担軽減を図るため、平成三〇年度は五〇〇万円へと大幅に増額した

中学校部活動補助金は、市内各中学校の部活動の一層の活性化及び保護者の負担軽減を図ることを目的に、平成三〇年度は、これまでの一〇八万円から五〇〇万円へと大幅に増額した。

補助金については、学校ごとの部活動加入生徒数及び各校における校内の部員数により按分し助成している。その使途は、中体連及び中文連の負担金や大会運営費、チーム登録料などに加え、大会参加にかかる交通費、練習用具の購入などであり、保護者からも感謝の声が多く寄せられている。また、夏の中体連の大会やコンクールの前に補助金を交付していることから、大会に向け効果的な練習ができた等の声も多く届いており、事業効果としては大きいものと考えている。

今後も、部活動の活性化及び保護者の負担軽減等の目的に向け、事業を継続していきたいと考えている。

特別競輪が開催されない中、収支において黒字を確保した要因をどのように分析しているか

市長
開設記念競輪や本場ナイター競輪の売上好調、FⅡ開催の収支改善及び引受場外開催による収益確保等が主な要因である

平成三〇年度は、特別競輪である「サマーナイトフェスティバル」の開催がなかったことから、車券売上額、収支ともに減収となったが、一二月の「開設六八周年記念競輪」や本場ナイター競輪の売り上げが好調であったこと、伊東温泉競輪初の開催となる「ミッドナイト競輪」でFⅡ開催の収支が改善できたこと、引受場外開催を二八三日間開催し、収益を確保したことなどが、黒字となった主な要因であると分析している。

また、「ミッドナイト競輪」を始めとした開催の多様化に努め、新たな取り組みを実施したことも一つの要因であると考えている。

今後も、特別競輪の誘致を計画すると同時に、毎年開催できる開設記念競輪を中心とした事業運営で黒字を確保していけるよう、経営基盤を強化するとともに、一般会計への繰り出しが毎年継続できるよう、努めていく。

『その他の質疑』二一項目

財政調整基金の適正規模に関する見解を伺う

自民・絆
稲葉富士憲議員

市長
適正規模を維持できていると考えている

平成三〇年度の財政調整基金残高は、三月三一日時点で三五億八九八一万七〇〇〇円であり、その後、出納整理期間中に四億円の取り崩しと、一部利息の積み立てを実施したため、出納閉鎖時点での残高は三一億八九八一万八〇〇〇円となっている。

基金の規模については、一般的には標準財政規模の一五％から二〇％程度が望ましいと言われており、少なくとも二五億を維持したいと申し上げてきたが、今のところ達成できている。

今後、市税の大幅な増収

があまり期待できず、財源不足が懸念されるが、財源不足を補うための取り崩しと、決算における法定分の積み立てをバランスよく実施し、適切な管理・運用に努めていく。

起業支援及び空き店舗対策補助事業について伺う

市長 起業促進及び雇用創出につながり、大きな成果があった

本事業は、本市で起業する方や商店街の空き店舗を活用して起業または新たに事業を拡大する方に対し、その開業資金及び家賃の一部を補助し、起業の促進及び空き店舗の減少を通じて、市内経済の活性化を図るものである。

平成三〇年度の実績としては、一六件の起業が促進され、そのうち商店街の空き店舗を活用した起業が四件、本市への移住者による起業が三件、若者の起業が七件であった。また、正社員やパートなど一三人の雇用創出につながり、大きな成果があったと考えている。

課題については、起業促進だけでなく、いかにその質を高めていくかが重要であると考えており、起業に関する様々な知識を学ぶ伊東創業塾を受講することを補助要件とすることに加え、伊東商工会議所と連携し、起業者に対する経営相談を重点的に行っていただくなど、起業前後のフォローアップに努めている。

令和元年度から家賃補助金は廃止し、開業資金に対する助成を拡充するとともに、移住者及び若者に対する優遇措置の強化など、制度の見直しを行ったところであり、今後も利用者のニーズに合わせた制度の運営に努めていく。

『その他の質疑』二一項目

市民民主クラブ
四宮和彦議員

未来ビジョン会議、地域タウンミーティング、市長への手紙など、市民との対話を重視するボトムアップ方式の市政運営について、その成果が決算にどのように反映されているか

市長 市民ニーズ等を勘案し、JR伊東駅前観光トイレ整備事業等に取り組んだ

未来ビジョン会議では、図書館・文化ホール建設の方向性や、まちのにぎわい演出、フォトスポット事業について提案等をいただいた。また、地域タウンミーティングや市長への手紙で寄せられた要望等のうち、緊急を要するものは迅速に対応しつつ、市民ニーズ等を勘案し、JR伊東駅前観光トイレ整備事業や市営住宅改修等に取り組んだ。

今後も若い世代の発想や市民の市政への建設的な意見等を伺うことで、地域の課題の解決を図りつつ本市の未来へ向けた施策につなげていく。

メディアを活用した観光戦略として制作したプロモーションビデオについて、本市のPRに関しどのような成果があったか

市長 広告換算費で約七七六〇万円の効果があった

二〇代から四〇代の女性をターゲットに、従来の景勝地等ではなく、本市独自のコンテンツ「まくら投げ」を題材とし、また、元新体操日本代表のタレントを起用することで、これまでとは異なる趣向の印象的な動画が制作できた。

あわせて制作したキービジュアルとともにリリースした結果、テレビ四社、新聞六社、雑誌一社、WEBサイト等一三五社に取り上げられ、広告換算費で約七七六〇万円の効果があった。

『その他の質疑』一〇項目

日本共産党
重岡秀子議員

病院事業会計における医療従事者就業支援事業について伺う

市長 就業支度金を活用し、新たに二名の常勤医師を採用することができた

質の高い医療を提供するためには、設備面はもとより、医師を始めとする医療従事者の充実が不可欠であることから、市民病院における常勤医師の新規採用を促進する目的で、平成三〇年度から新たに実施した。

この事業は、常勤医師の新規採用に対し、就業支度金として一名につき九〇〇万円を限度に交付す

るものであり、この支度金を活用して五月に眼科医を、一〇月に脳神経外科医を、それぞれ一名ずつ新たに採用することができ、新規採用医師二名分、計一八〇〇万円を地域医療振興協会に交付した。

今後についても、市民病院と協議をする中で、必要度の高い診療科の医師を優先的に採用するため、引き続き、本事業を継続し、就業しやすい環境を整備することで、医療従事者の確保につながるよう取り組みを進めていく。

『その他の質疑』六項目

公明党
鳥居康子議員

空き家等の実態調査の結果及び今後の対策を伺う

市長

新たに空き家等の可能性のある建物を把握したことから、所有者の確認等を行い、適正な管理を求めていく

空家等実態調査の結果については、業務委託により、空き家等の可能性がある建物について、六四五軒の位置及び現状を把握しており、従来把握している空き家等と合わせ、現在、約八〇〇軒の空き家等が存在するものと考えている。

これらの建物は、一戸建ての住宅で、昭和三〇年から四〇年代に分譲・販売された別荘分譲地や、古くからの集落の道路が狭隘な場所に多く存在している。

今後、実態調査により把握した空き家等については、職員が再度現地の確認を行い現状の把握を行った上で、所有者を特定し、空き家等の現状をお知らせするなど、適正な管理を求めていく。

また、実態調査の資料を活用して、空家等対策計画を今年度中に策定し、市民の生活環境の保全を図るとともに、空き家等の増加の抑制や有効利用等のさらなる対策を総合的に推進する。

『その他の質疑』四項目

犬飼このり議員
（会派に属していない）

伊東駅前周辺地区まちづくり検討調査業務委託料が、当初予算を大幅に下回る決算額となった理由、調査内容及び今後の展望を伺う

市長

当初は駅前広場及び街区の整備の方向性を整理し、街区の実現可能な整備方法を検討する予定であったが、街区については、伊東駅前まちづくり協議会と協議の上でまとめることとし、業務内容を見直したため、減額となった。調査は駅前広場整備に係る前提条件の整理、整備方針の検討、近隣街区の整備の方向性の検討などを行った。今後は、整備の方向性をより具体化し、早期の着手を目指していく。

『その他の質疑』二項目

九月定例会中の市議会内の会派構成

■正風改革クラブ
山口　嘉昭　議員
◎佐山　　正　議員
井戸　清司　議員
土屋　　進　議員

■自民・絆
大川　勝弘　議員
青木　敬博　議員
中島　弘道　議員
◎稲葉富士憲　議員

■市民民主クラブ
◎四宮　和彦　議員
鈴木　克政　議員
浅田　良弘　議員

■公明党
◎鳥居　康子　議員
長沢　　正　議員

■日本共産党
佐藤　龍彦　議員
◎重岡　秀子　議員

■会派に所属していない
犬飼このり　議員
横沢　　勇　議員
稲葉　正仁　議員

◎は代表者、会派構成議員は議席順

本会議録画映像をインターネットで視聴できます！

伊東市議会では、開かれた議会を目指し、本会議の録画映像をインターネットでごらんいただける取り組みをしております。

会議の翌日から起算して、おおむね一週間後から視聴できます。

■アクセスは、
伊東市ホームページ（市政の情報）
←
市議会
←
市議会インターネット中継放送

※録画映像は公式記録ではありません。後日調製される会議録が公式記録です。

常任委員会だより

～常任委員会審査の中から～

◆詳細は、11月中旬発行予定の９月定例会会議録の委員会審査報告をごらんください。

総務委員会

問 印鑑条例の一部改正により、住民票、マイナンバーカード等へ旧氏が併記可能となるが、本改正の趣旨を伺う。

答 女性活躍推進の観点から、契約行為等における女性の負担軽減を視野に入れた改正であり、住民票に記載のある旧氏を、印鑑登録できるようになる。

住民票、マイナンバーカード等への旧氏の併記が可能となる

問 移住定住促進事業における移住相談を通じて得た情報を、どのように反映させたのか伺う。

答 実際に現地を見ることで生活感を味わいたいというご意見があったことから、移住定住促進現地ナビゲート事業を実施し、現地を案内することで、移住希望者の不安の解消に努めていく。また、実施に当たっては、行政とは異なる柔軟なアイデアが出ることを期待し、プロポーザル方式により民間事業者を選定した。

観光建設委員会

問 藤の広場周辺整備調査委託について、調査内容を伺う。

答 松川藤の広場周辺の整備方針を明確にするため、ゾーニングや現状分析、複数の整備計画案を出してもらうなど、今後の方向性を検討する上での基礎資料とする調査を行った。

問 一般会計補正予算における、まくら投げプロモーション事業について、まくら投げをさらに周知するための新たなアイディアや展開を伺う。

答 まくら投げを広めるために、会場拡大の必要性は認識しているが、会場には畳を敷くため、畳を運搬する必要があることが課題となっている状況であるが、シティプロモーションの委託先において企画した、まくら投げ体験をセットにした旅行商品を一部のホテルでは受け入れしていることから、今後、団体旅行や企業研修につながっていくものと考えている。

全日本まくら投げ大会

福祉文教委員会

問 子どもの居場所づくり事業について、現在は４カ所で実施しているが、事業の適正配置について伺う。

答 行政区が中心となって地域ぐるみで子供を育てていく観点から、15の行政区ごとに必要と考えている。

問 平成30年度伊東市介護保険事業特別会計歳入歳出決算のうち、地域介護予防活動支援事業における高齢者の居場所づくりについて、その実施状況を伺う。

答 市全体を５つの圏域に分け、地域包括支援センターなどにより、地域住民の語らいの場として、合計778回実施した。

高齢者の居場所づくり

問 特別支援教育支援事業における、支援員の配置状況及び勤務形態を伺う。

答 学校の規模や実態に応じて配置人数は異なるものの、特別支援教育支援員25人が市内小・中、全15校に配置されており、５時間から７時間勤務している。

新議員行政研究会

今後議員活動を行う上において必要となる基礎的事項に関し理解を深めていただくため、九月二二日の市議会議員選挙において初当選した議員六人を対象に、議員行政研究会を実施しました。

（一〇月一日）

■**執行機関の概要説明**

（一〇月二日）

■**市内各施設の視察**

文化財管理センター～環境美化センター～競輪場～学校給食センター（昼食）～健康福祉センター

■**議事機関の概要説明**

競輪場を視察

健康福祉センターにて

12月定例会の予定

11月29日(金) 開会

※日程等は、11月下旬の議会運営委員会において正式に決定します。

閉会中の議会活動

※令和元年６月定例会閉会から令和元年10月臨時会開会まで

7月12日　常任総務委員会協議会
7月23日　常任観光建設委員会協議会
7月30日　議会報編集委員会
7月31日　常任福祉文教委員会協議会
8月13日　常任総務委員会協議会
10月1日・2日　新議員行政研究会
10月4日　市議会全員打合会

インターネット市議会ホームページのご案内

市議会では、市民の皆様の情報をお届けするため、ホームページを開設しています。主な内容は次のとおりとなっていますので、ぜひご覧ください。

■市議会の仕組み
■市議会の構成
■議長・副議長日程表
■議員名簿
■定例会・臨時会
■会議録検索システム
■市議会の傍聴について
■議会閉会中の活動状況
■請願・陳情・決議・意見書とは？
■行政視察
■いとう市議会だより
■歴代議長・副議長一覧
■市政の概要
■市議会の情報公開請求
■市議会図書室のご利用案内

編集後記

九月二二日、令和になって最初の伊東市議会議員選挙が行われ、二〇名の議員による新たな議会がスタートしました。

第一九期議会の新たな委員による議会報編集委員会で、「市議会だより」を引き継ぎ、編集に当たってまいります。

今後も、開かれた議会を目指し、市民の皆様によりわかりやすく、親しみやすい紙面づくりに努めてまいりますので、前期に引き続きご愛読いただきたく、議会報編集委員一同、よろしくお願い申し上げます。

議会報編集委員会

委員長　佐藤龍彦
副委員長　杉本憲也
委員　佐藤周
〃　篠原峰子
〃　大川勝弘

市議会に関するご意見ご質問は議会事務局へ

いとう市議会だより　2019.12　No.183
「いとう市議会だより」は再生紙を使用しています
【発行】伊東市議会　【議長】佐山　正
【編集】議会報編集委員会
【伊東市議会事務局】伊東市大原二丁目1番1号
■TEL／0557-32-1981　■FAX／0557-38-6916
■E-mail／gikai@city.ito.shizuoka.jp
■ホームページ／https://www.city.ito.shizuoka.jp